

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 松尾電機株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6969 URL <http://www.ncc-matsuo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行社員 (氏名) 清水 巧
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員総務部門長兼経理部門長 (氏名) 竹野井 薫 (TEL) (06) 6332-0871
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,741	△13.2	△217	—	△197	—	△283	—
23年3月期第3四半期	5,459	5.0	262	—	267	—	169	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △385百万円(—%) 23年3月期第3四半期 141百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△11 01	—
23年3月期第3四半期	6 56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,030	7,149	71.3
23年3月期	10,275	7,586	73.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,149百万円 23年3月期 7,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	△6.7	△230	—	△230	—	△320	—	△12.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ___社(社名) 、除外 ___社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	26,220,000株	23年3月期	26,220,000株
24年3月期3Q	481,332株	23年3月期	476,619株
24年3月期3Q	25,740,667株	23年3月期3Q	25,773,046株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、平成23年3月に発生した東日本大震災及び同年10月から長期化したタイ国水害の影響に伴う生産活動の低下、電力不足の問題及び円高の急速な進行により、前年同期に比べて需要が大幅に減少し深刻な状況となりました。特に、当社グループが関連する市場では、カーエレクトロニクス分野向けの需要が大きく落ち込みました。

このような環境のもと、当社グループは、『革新への限りなきチャレンジ』をスローガンとして策定した3カ年の中期経営計画の初年度として、常に革新を志向し「考動」することにより、持続的な事業成長を目指して取り組んでまいりました。具体的には、震災後のお客様への製品の安定供給に努め、また、収率改善等のコストダウンを始めとする売上高に対応したコスト体系の維持を推進すること等により、中期経営計画の基本方針の一つである、市場に受入れられる「品質・性能・価格・納期」の実現に一層努力しました。

しかしながら、東日本大震災及びタイ国水害の影響によるカーエレクトロニクス・小型携帯電子機器分野での需要の低迷及び円高の急速な進行による海外向け売上の大幅な落ち込みを補うことが困難となり、当社グループの売上高は、47億4千1百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。当社グループの損益につきましては、売上高の減少、対米ドル為替レートの急速な円高の進行及びタンタル材料の一層の高騰により、営業損失2億1千7百万円（前年同四半期比4億8千万円悪化）、経常損失1億9千7百万円（前年同四半期比4億6千4百万円悪化）となりました。また、株価の下落に伴う投資有価証券評価損の発生により、四半期純損失は2億8千3百万円（前年同四半期比4億5千2百万円悪化）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

売上高は、カーエレクトロニクス分野や情報通信インフラ分野、海外向携帯電話の販売が減少した結果、38億3千1百万円（前年同四半期比11.3%減）となり、セグメント利益は1億1千8百万円（前年同四半期比69.0%減）となりました。

② 回路保護素子事業

売上高は、主にホームエレクトロニクス分野向けの販売が減少した結果、6億7千3百万円（前年同四半期比20.2%減）となり、セグメント利益は6千7百万円（前年同四半期比69.6%減）となりました。

③ その他

売上高は、主として、フィルムコンデンサの売上高が、主にアミューズメント分野向けの販売が減少した結果、2億3千5百万円（前年同四半期比19.7%減）となり、セグメント損失は2千7百万円（前年同四半期比5千5百万円悪化）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億4千4百万円（△2.4%）減少し、100億3千万円となりました。流動資産は、同2千4百万円（△0.4%）減少し、63億2千7百万円となりました。これは主として製品が6千万円、仕掛品が5千5百万円増加しましたが、現金及び預金が2億5千2百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、同2億2千万円（△5.6%）減少し、37億2百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価の下落により投資その他の資産が1億8千4百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億9千2百万円（7.2%）増加し、28億8千1百万円となりました。流動負債は、同1億4千3百万円（7.2%）増加し、21億4千4百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1億4千4百万円増加したこと等によるものです。固定負債は、同4千8百万円（7.0%）増加し7億3千6百万円となりました。これは主としてその他の固定負債が3千4百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億3千7百万円（△5.8%）減少し、71億4千9百万円となりました。これは主として、四半期純損失の計上等により利益剰余金が3億3千4百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表しました数値を修正しています。内容につきましては、本日（平成24年2月10日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,218,044	1,965,525
受取手形及び売掛金	2,316,041	2,396,709
有価証券	93,164	88,655
製品	794,485	855,035
仕掛品	484,809	540,395
原材料及び貯蔵品	431,678	447,831
その他	18,980	36,241
貸倒引当金	△4,577	△2,403
流動資産合計	6,352,626	6,327,990
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	15,561,580	15,628,420
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,175,129	△14,289,681
機械装置及び運搬具(純額)	1,386,450	1,338,739
その他	6,710,350	6,731,831
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,199,350	△5,208,482
その他(純額)	1,511,000	1,523,348
有形固定資産合計	2,897,451	2,862,088
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	976,932	790,117
その他	19,158	23,372
貸倒引当金	△0	△2,265
投資その他の資産合計	996,091	811,224
固定資産合計	3,923,136	3,702,802
資産合計	10,275,762	10,030,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	963,096	1,107,225
短期借入金	550,000	700,000
未払法人税等	29,977	11,017
設備関係支払手形	99,964	33,876
その他	357,137	292,047
流動負債合計	2,000,175	2,144,166
固定負債		
繰延税金負債	132,779	116,141
退職給付引当金	492,229	522,046
環境対策引当金	9,322	9,322
資産除去債務	6,696	6,789
その他	47,577	82,573
固定負債合計	688,604	736,872
負債合計	2,688,780	2,881,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,219,588	2,219,588
資本剰余金	3,341,270	3,341,270
利益剰余金	2,201,799	1,866,857
自己株式	△83,531	△84,015
株主資本合計	7,679,127	7,343,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91,981	△193,716
繰延ヘッジ損益	△163	△230
その他の包括利益累計額合計	△92,145	△193,947
純資産合計	7,586,982	7,149,753
負債純資産合計	10,275,762	10,030,792

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,459,235	4,741,164
売上原価	4,141,175	3,900,066
売上総利益	1,318,060	841,098
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	408,699	390,501
退職給付費用	33,280	30,813
貸倒引当金繰入額	178	92
その他	613,374	637,366
販売費及び一般管理費合計	1,055,533	1,058,773
営業利益又は営業損失(△)	262,527	△217,675
営業外収益		
受取利息	1,290	620
受取配当金	22,743	21,941
株式割当益	12,740	—
その他	4,478	11,142
営業外収益合計	41,252	33,704
営業外費用		
支払利息	6,573	5,823
たな卸資産廃棄損	7,274	—
為替差損	13,242	7,494
支払補償費	8,452	—
その他	1,217	581
営業外費用合計	36,759	13,899
経常利益又は経常損失(△)	267,019	△197,871
特別利益		
投資有価証券売却益	1,752	—
貸倒引当金戻入額	947	—
特別利益合計	2,700	—
特別損失		
固定資産除却損	2,992	3,003
投資有価証券評価損	84,590	89,687
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,350	—
特別損失合計	91,933	92,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	177,786	△290,561
法人税、住民税及び事業税	8,504	9,532
法人税等調整額	—	△16,638
法人税等合計	8,504	△7,106
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	169,282	△283,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	169,282	△283,455

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	169,282	△283,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,568	△101,734
繰延ヘッジ損益	79	△67
その他の包括利益合計	△27,489	△101,801
四半期包括利益	141,792	△385,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,792	△385,257
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注) 4
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業(注) 1	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,321,486	844,716	5,166,202	293,032	5,459,235	—	5,459,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,321,486	844,716	5,166,202	293,032	5,459,235	—	5,459,235
セグメント利益	382,913	223,161	606,075	27,442	633,517	△370,990	262,527

- (注) 1. 当社グループが従来「回路保護部品」と称していた製品群は、電子部品の中の機能的な位置づけを考慮して平成23年4月1日より「回路保護素子」と改称したことに伴い、平成23年4月1日より「回路保護部品事業」は「回路保護素子事業」と改称しています。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業及びアルミコンデンサ事業等を含んでいます。
3. セグメント利益の調整額△370,990千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
4. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注) 4
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業(注) 1	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,831,982	673,824	4,505,806	235,358	4,741,164	—	4,741,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,831,982	673,824	4,505,806	235,358	4,741,164	—	4,741,164
セグメント利益 又は損失(△)	118,633	67,800	186,434	△27,654	158,780	△376,455	△217,675

- (注) 1. 当社グループが従来「回路保護部品」と称していた製品群は、電子部品の中の機能的な位置づけを考慮して平成23年4月1日より「回路保護素子」と改称したことに伴い、平成23年4月1日より「回路保護部品事業」は「回路保護素子事業」と改称しています。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業及びアルミコンデンサ事業等を含んでいます。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△376,455千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。